

令和7年9月3日大雨

- (被害状況)・東九州自動車道において、大型車の故障により通行に影響をもたらした。
- (対応状況)・令和7年9月3日に東九州道(清武南～日南北郷間)下り線において、大型車の故障により通行止めが発生し、清武南ICからの流入車について通行止めを行った。



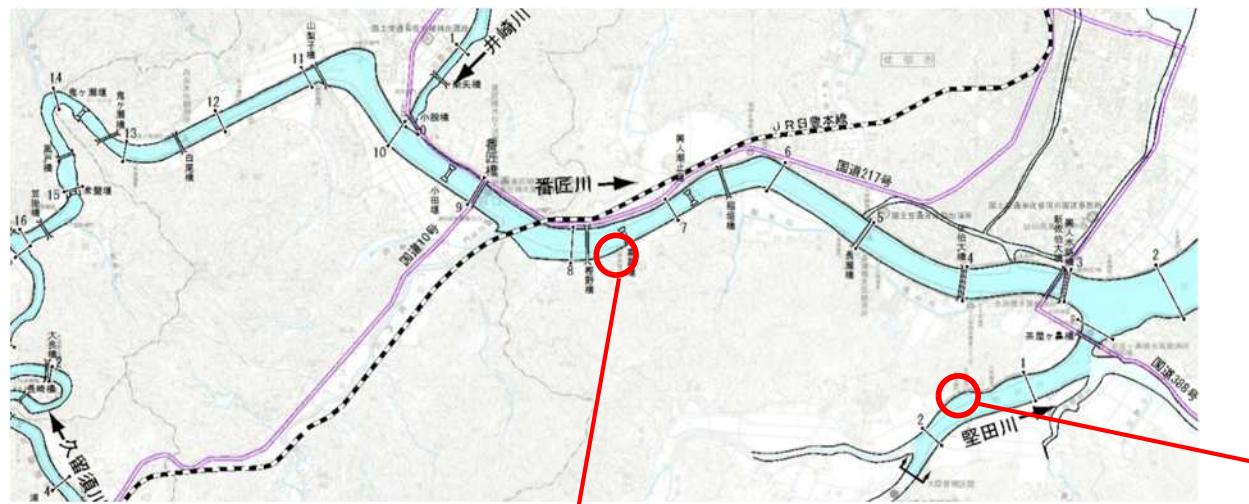
春山建設工業(株)
佐々木 哲也

○事前に発注者と災害協力会社による規制内容・対応について打合せを行っていたので、規制指示の連絡を受けた時にも慌てずにスムーズな対応ができました。

○令和7年9月4日から台風15号に伴う内水被害を軽減するため、佐伯河川国道事務所から排水ポンプ車6台を各樋門へ配置した。

【災害協定企業:谷川建設工業(株)、小田開発工業(株)、(株)盛田組、(株)風戸工務店、(株)佐々木建設】

○樋野樋門と長谷樋門に配置した2台の排水ポンプ車は、番匠川での排水作業を9月5日まで実施した。



樋野樋門

長谷樋門

迅速な応急復旧の実施

(株)盛田組・建設サービス(株) (延岡河川国道事務所)

国土交通省
九州地方整備局

- (被害状況)… 令和7年9月4日19時～20時の時間雨量83mmもの豪雨に見舞われ東九州自動車道(大分県佐伯市青山地区)において、法面の表層崩壊が発生した。路面への流入は無かったものの、調査・応急復旧のため通行に影響をもたらした。
- (対応状況)… 早急に通行規制を解除するため、25tクレーンとバックホウにて法面上の土砂を撤去し、大型土のう及び仮設排水管の設置、法面へのシート養生を行いました。

位置図



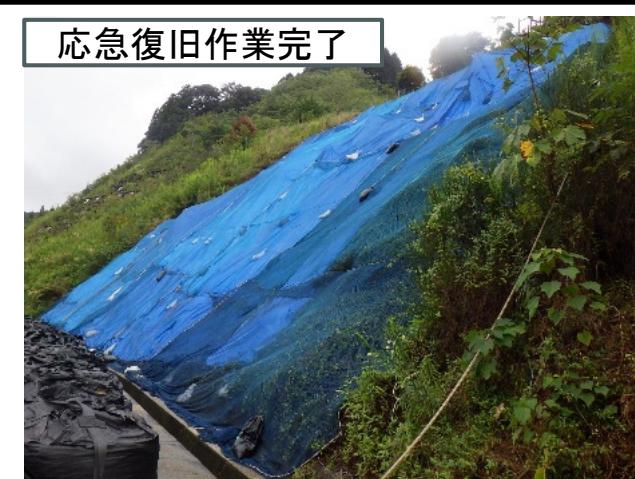
被災状況



被災状況



応急復旧作業完了



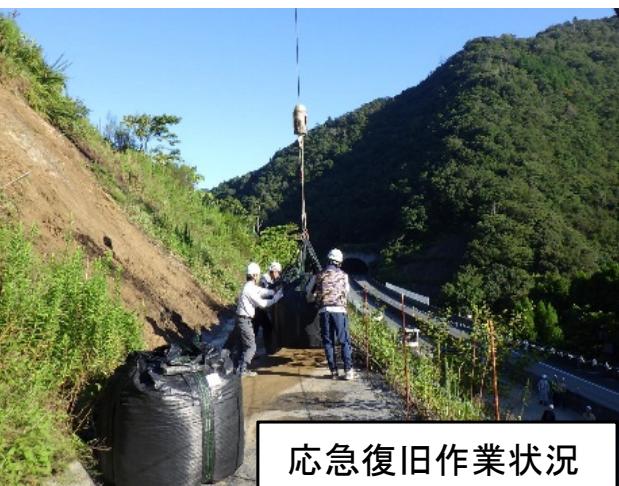
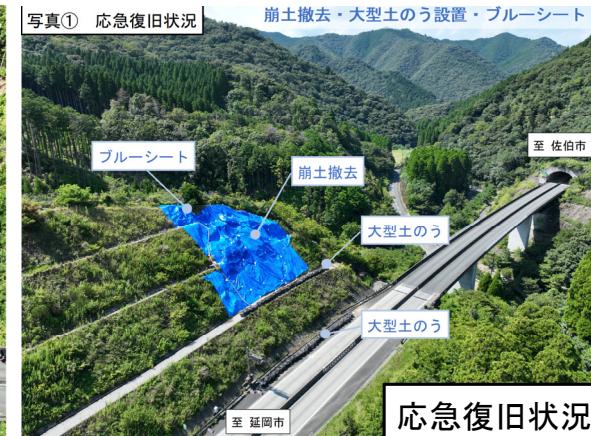
早期復旧を目指し昼夜の作業となりましたが、資材や作業車両の早期確保、作業体制・役割分担を行い法面保護にあたりました。

法面崩壊が起きて直ぐの不安定な状態であったため、人員の安全に配慮しながらの復旧作業となりましたが、土曜日の昼頃には2次災害もなく開放することができました。



(株)盛田組
日高 大介 氏

応急復旧作業状況



応急復旧作業状況



建設サービス(株)
増田 昌和 氏

当該法面の崩壊に伴う道路利用者への被害が生じなかったことに安堵しました。

法面崩壊の連絡を受け班編成を行い、発注者からの指示の下、現地の復旧作業に必要な資材の調達及び運搬を手伝わせていただき大変貴重な経験となりました。

弊社受注の維持工事では、このような災害の兆候を早期に発見し災害防止の努力を惜しまず健全な道路の維持に邁進して参ります。

法面崩壊状況写真